

2020年度 競技会運営の共通事項

1 保護者の参加について

- ① 保護者等の参加は、レベル5の状況では、エントリー数の50%までとする。
レベル5の状況でも、感染者数が増加した場合は、無観客での実施も考えられる。
レベルの引き下げ、感染者数の減少等があれば、100%での実施も考えられる。
- ② 健康観察カードの義務付け
競技会1週間前から検温し、所定の用紙に記録する。
健康観察カードは、競技会当日、受付にチームごとにまとめて提出する。
競技会が2日間にわたる場合は、1日目帰るときにカード受け取る。
2日目も同じように体温を記入し受付に提出する。
競技会終了後は、熊本陸上競技協会にて保管する。
- ③ 競技会終了後、2週間の検温を義務付ける。
異常があれば、熊本陸上競技協会へ連絡、ガイドラインに沿った対応を行う。
2週間終了後は、各チームで保管する。
- ④ 保護者等で参加予定の方の名前等、事前にチーム責任者は把握しておく。
申込時に参加人数も届けてもらいますので、その数に応じてIDを発行する。
IDの貸し借りは、禁止する。

2 監督、コーチ

- ① 参加者及び来場者は、競技会1週間前から検温し、健康観察カードに記録する。
健康観察カードは、選手の分と一緒にして、チーム責任者が管理する。
- ② 監督・コーチもIDを発行する。
申込時に参加人数も届けてもらいますので、その数に応じてIDを発行する。
- ③ 競技会終了後、2週間の検温を義務付ける。
異常があれば、熊本陸上競技協会へ連絡、ガイドラインに沿った対応を行う。

3 その他

- ① IDは、貸与するので、帰宅時に返却すること。
- ② 選手は、学校ユニホームをIDの代わりにする。